

「日野川の森」創出プロジェクト ～もり・茂り・守り～ (河川砂防課)

日野川では、河川工事によりやむなく河道内の竹木を伐採しています。
このままでは、鳥などの生きものの生活の場が失われてしまうため、
平成17年度から代わりとなる森づくり

～「日野川の森」創出プロジェクト～

が始まりました。現在、川沿いの自治会や日野川などで活動されている団体の方、市・県の職員が力を合わせて3つの「もり」に取り組んでいます。

「^{もり}母里」・・・生きものの母なる里となる「もり」にしよう

「^{もり}茂り」・・・植樹や苗を育て緑の生い茂る「もり」にしよう

「^{もり}守り」・・・みんなで草刈りや水やりをして、もりを守り育てよう

平成18年度は、ドングリで苗木ポットをつくったり、総勢約200名で1,200本ほどの苗木を「日野川の森」に植樹しました。



2/17野洲市比留田



3/20近江八幡市小田町



3/11野洲市小南

特定外来生物(オオキンケイギク)の防除実験 (河川砂防課)

長命寺川の河川敷には、昨年特定外来種に指定されたオオキンケイギクが生えています。このオオキンケイギクは非常に繁殖力が強く、植物の生態系を乱す恐れがあります。そこで、防除の手法を調査するための実験を2～3年かけておこなうことにしました。

実験は、根から抜き取ったり、刈り取り時期を変えるなどの方法でおこないます。この実験結果にもとづき、防除の方法を決定します。



原産地：北アメリカ
開花期：5～7月
特徴：キク科、高さ0.3～0.7m
観賞用・緑化用として導入



生態系保全のため、持ち帰ったりしないでくださいね。